

ザ・レジェンド・チャリティープロアマトーナメント



「難病や小児がん、白血病で苦しんでいる子供たちのために、少しでも役に立ちたい」。プロゴルファーの青木功、ジャズトランペッターの日野皓正が、大会収益金の一部を寄付する事を目的にスタートした『ザ・レジェンド・チャリティープロアマトーナメント』。本年度は、新たに実行委員に王貞治・福岡ソフトバンク球団会長が加わり、5月8日、9日の2日間、千葉県麻倉ゴルフ倶楽部で開催された。チャリティーでありながら、集ったギャラリーは2日間で6379名。真夏のような強い日差しの中、石川遼、片山晋呉などのプロ

選手、明石家さんま、郷ひろみ、中村勘三郎など著名人たちのプレーに熱い声援を送った。

中でも大会を盛り上げたのは、エージシュートを達成した青木。初日は5オーバーの77だったが、2日目は前半を2バーディー、1ボギーの35で折り返し、さらにバーディーを4つ積み上げる。最終9番では、大観衆が固唾を呑んで見つめる中、7メートルのバーディーパットをねじ込み、66でフィニッシュ。67歳で自身3度目の快挙を達成し、「まだ青木功」がいることを忘れるなよ」と満面の笑顔を見せ、会場を沸かせた。

プロの部では久保谷健一、片山晋呉、丸山茂樹の3名が熾烈な争いを繰り広げ、トータル131、13アンダーでまわった久保谷が優勝を飾った。著名人の部では、15アンダーを叩き出した野球解説者の田淵幸一氏が2位に4打差をつけて快勝した。

晴天にも恵まれ、最高のプレーで幕を閉じた本大会。チャリティー収益金は約3000万円にのぼり、千葉県こども病院、公益信託日本白血病研究基金、財団法人がん子どもを守る会に、約1300万円ずつが寄付される。青木は「みんなが一体となってできたことがうれしい。いずれは我々の力で病院を建てられればいいなと思う」と今後に向けての夢を語った。

ザ・レジェンド・チャリティープロアマトーナメント

麻倉ゴルフ倶楽部（プロの部・6,969ヤード、シニアとアマの部・6,505ヤード、パー72）

- 主催／ザ・レジェンド・チャリティープロアマトーナメント大会実行委員会
- 後援／日本医師会、日本血液学会、日本小児科学会、日本小児がん学会、日本小児血液学会、日本赤十字社
- 特別後援／社団法人日本プロゴルフ協会（PGA）、社団法人日本ゴルフツアー機構（JGTO）
- 協賛／協賛各社
- 特別協力／テレビ朝日
- 協力／千葉県、佐倉市、麻倉ゴルフ倶楽部、ヒルトン成田
- 企画／有限会社青木功ゴルフ企画、株式会社ハイマックス
- 競技運営／株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ
- テレビ放送／テレビ朝日系列全国24局ネット

- 賞金／総額2,500万円 優勝賞金500万円 ※賞金の一部をチャリティーとして寄付
- 参加者／126名（プロ32名、著名人28名、アマ66名）
- 観衆／1日目 2,773名、2日目 3,606名
- 天候／1日目 晴れ、2日目 晴れ
- スコア／プロの部 優勝・久保谷健一131（13アンダー）
2位T・丸山茂樹、片山晋呉132（12アンダー）、4位・深堀圭一郎134（10アンダー）
5位T・室田淳、近藤共弘、谷原秀人135（9アンダー）
- 著名人の部／優勝・田淵幸一129（15アンダー）、2位・細川たかし133（11アンダー）
3位・日野皓正135（9アンダー）、4位・王貞治137（7アンダー）、5位・関根勤、中村勘三郎139（5アンダー）